

静岡県在宅歯科医療推進室からのお知らせ④

「歯科医院は前からずっと・いつでも感染予防対策中」

45歳のA子さん 3か月に1度、歯の健診のために、定期的に歯科医院に行っています。

A子「ねえ、今月、歯医者さんの定期健診、どうしようかな」

夫「歯医者？だめだよ、歯科は感染しやすいって聞いたよ」

A子「ホント！？じゃ、やめたほうがいいよね。自粛だね。」

夫「そうだよ、うちには、おばあちゃんもいるんだから、感染したら大変だよ」

A子「でもね、この頃、奥歯の歯ぐきが腫れてるみたい。噛むと痛いような・・・」

夫「歯みがきが下手なんだよ、きっと。いつも歯医者さんに言われるだろ？」

A子「そうだね、しっかり磨いておこう！」



ちょっと待って！

正しい理解をお願いします

<歯科医院の感染対策>

歯科医院では、日常的に、感染症の予防のために「標準予防策」を実施しています。「標準予防策」は、症状のある・なしに関わらず、全ての人に感染症の危険があると想定して行う、世界基準の感染予防対策です。

右の絵のような歯科スタッフの姿は、コロナ禍の特別仕様ではありません。

「標準予防策」の一環で、歯科医院のお馴染みのスタイルと言えます。

一時期、歯科の感染リスクが高いという報道がありました。これは、感染の自覚のない方が歯科受診した場合、治療に関わる歯科スタッフへの感染リスクを懸念したものです。歯科の治療を通じて、患者さんが感染するリスクのことではありません。

新型コロナウイルス感染症で無症状の感染者が確認されていますが、これは別の感染症でも同じことで、だからこそ歯科医院では、前からずっと、日常的に「標準予防策」を徹底してきました。

口腔からの飛沫は、これも以前から、多くの歯科医院で、口腔外バキューム（飛沫の吸引装置）の使用などの対策を取っています。新型コロナウイルス感染拡大を受け、患者さんの検温や体調確認、1回に診療室に入る患者数を減らす、室内換気など、できる限りの対策を取りつつ、歯科診療を継続しています。



<自己判断で歯科治療を中断しないでください>

自粛を意識するあまり、自己判断で、継続中の歯科通院を中断することは避けてください。治療が途中になると、病状が悪化したり、歯に被せる冠などが合わなくなって作り直しが必要になったりします。

また、腫れや痛みを放置するのも良くありません。自己判断せず、必ず、かかりつけ歯科にご相談ください。

<お口の健康管理が感染症の予防につながります>

お口の中のバイ菌は、口臭や虫歯、歯周病などを起こしますが、あるバイ菌の出す酵素が、インフルエンザウイルスの感染を促進することもわかっています。**感染症の予防には、歯みがきも有効です。**毎日の歯みがきを大切に、歯や入れ歯を清潔に保つ意識を、一層、高めましょう。

また、舌もきれいにしたいです。舌の表面を傷つけないよう、専用の舌ブラシ等で丁寧に清掃しましょう。歯周病の重症化を予防する歯科の定期受診では、専用の器具でバイ菌の塊（歯垢・歯石）を取り除きます。これは体全身の感染症予防にもなるので、定期受診を自己判断で中断することは避けてください。

高齢者では、お口の機能の衰え（オーラルフレイル）が進まないよう、お口の体操もお勧めします。

お口の体操は、食べる・飲み込む機能を助け、誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）を予防します。



静岡県在宅歯科医療推進室（静岡県歯科医師会内）

〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金3丁目3番10号 開室時間）平日 10:00～15:00

TEL) 054-202-6480 FAX) 054-202-5009 email) zaitaku@s8020.or.jp HP) <https://s8020.or.jp/>